

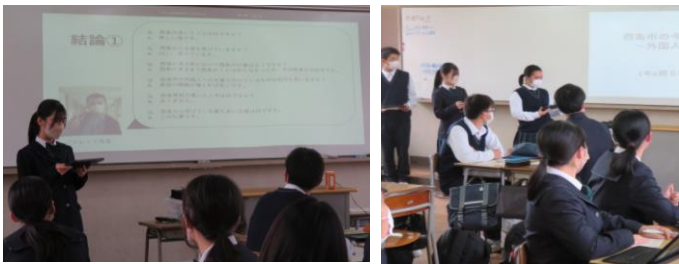
## グローバルな視点を持ち、新たな価値を創造する人材の育成

西条高校は、平成30年度から5年間、文部科学省が指定するSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に選ばれました。新しい時代をたくましく生き、世界に躍進する人材の育成を目標に、生徒の多彩な進路実現を目指します。

2学期は、2年生マルチサイエンスⅠの中間発表会や1年生有法子のプレ課題研究、オンライン海外研修など様々な研究や活動を深めることができました。その他のSSHの活動も合わせて振り返ります。

### 1年生 有法子 プレ課題研究

1学期には西条市の地域課題を学んできました。これに基づいて2学期は自分で課題を発見して、研究に取りかかりました。オンラインでアンケートを行ったり、市役所に聞き取りを行ったり、ALTのジャレッド先生に在住外国人としてのインタビューを行ったり、各班工夫して研究をまとめています。



### マルチサイエンスⅠ 中間発表会

11月1日、公開で実施しました。これまでの研究について講座別に発表し、質疑応答も活発に行われました。1年生、商業科2年生も参観し、盛会でした。

#### ◆数学「勉強に集中しやすい環境をつくる」



#### ◆数学「健康とデータサイエンス～地産地消の視点から」



### オンライン海外研修 セッション

12月6日、イギリスのキャリアウィズカレッジとオンラインセッションを行いました。英語の質問に即興で答えることに苦労しましたが、準備や練習の成果を発揮することができました。



#### ◆国語班 発表後のフィードバックの様子



### 商業科 課題研究

10月25日、商業科3年生の防災班が、防災食づくりに挑戦しました。市役所危機管理課職員と防災士の方々が、講師として来校してくださいました。



耐熱用ビニール袋を用いて、災害時には、素早く温かい食事をつくることを学ぶことができました。



### マルチサイエンスⅡ 専門講座

9月29日、地元企業で活躍している西条高校OBの方に、「進路について考えたこと」と題して講演していただきました。現在の仕事をするようになった経緯や仕事の内容についてお話しいただき、生徒たちはメモを取りながら、熱心に耳を傾けていました。

